

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月2日 No26

発行担当 神戸医療生協・山根

連絡先 090-6056-8275

長く続く避難生活 被災者のつらさを実感、支援を続ける必要を感じています

坂元支所避難所へ支援物資を届け、被災者の声をお聞きしました。何もかも流されすべていただいたもので生きていますと遠慮げみに話されるおかあさん。私たちが持って行かしてもら

った少しの衣類やサンダルなどの支援物資の大変感謝していただきました。お会いする方すべてがほんの少しの支援でも喜んでいただき、日々の生活の大変さが伝わってきます。改めて継続した支援の必要性を実感しています。

宮城県南医療生協支援対策本部と打ち合わせ

6月11日の支援に向け打ち合わせを行いました。県南医療生協では、近畿の各生協の参加者とどう連携をとるかを論議しているとのことで、柴田クリニックから組合員さんの当日のボランティア活動のサポートなどの検討がおこなわれました。今までの活動から被災者は取りあえずの避難生活から生活再建に向けた生活相談支援などが必要な時期に来ているのではとのことから、まず診療所の窓口で患者さんへ支援内容のお知らせの充実が必要とのことからつないで行くことになりました。



依頼件数

泥かき	8件
床板はがし	3件
庭掃除	4件
引越し	0件
かたづけ	1件

山寺地区でがんばって営業再開した美容室

30日の地域訪問で山寺地区で営業を再開した美容室を発見、お客さんやご近所でお困りのことがあれば連絡くださいとお知らせすると、早速ボランティアセンターに連絡が入り支援物資を持って訪問、物資をなかなか貰いにいけないので本当に助かります。ご近所の方にも連絡したのでみんなで分け合いますとのこと6月11日の支援のお話しをすると、庭の片付けなどを地区のご近所の皆さんに声かけしますとのこと、個人対応の支援ではなく広く地域に貢献出来る活動を計画出来たらとお話しをしました。

